

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2026年6月12日まで（2011年9月26日設定）	
運用方針	<p>ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド 受益証券への投資を通じて、新興国の通貨建て 公社債等を実質的な主要投資対象とし、利 子収益の確保および値上がり益の獲得をめざ します。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を 維持することを基本とします。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として 為替ヘッジを行いません。ただし、実質組入 比率の調整等を目的として為替予約取引等を 活用する場合があります。</p>	
主要運用対象	ベビーフ ファンド	ネクスト・グロース・ボンド・マ ザーファンド受益証券を主要投 資対象とします。
	マザー ファンド	新興国の通貨建て公社債等を主 要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフ ファンド	外貨建資産への実質投資割合に 制限を設けません。
	マザー ファンド	外貨建資産への投資割合に制限 を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評 価益を含みます。）等の全額を分配対象額と し、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を 勘案して委託会社が決定し、原則として配当 等収益等を中心に安定した分配をめざしま す。ただし、毎年6月・12月の計算期末には、 安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内 で委託会社が決定する額を付加して分配する 場合があります。なお、分配対象収益が少額 の場合には分配を行わないことがあります。 また、基準価額水準、運用状況等によっては 安定した分配とならないことがあります。</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュ  
 ニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ネクスト・グロース・ボンド・オープン  
（毎月決算型）

愛称：夢こよみ



第141期（決算日：2023年7月13日）  
 第142期（決算日：2023年8月14日）  
 第143期（決算日：2023年9月13日）  
 第144期（決算日：2023年10月13日）  
 第145期（決算日：2023年11月13日）  
 第146期（決算日：2023年12月13日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「ネクスト・グロース・ボンド・  
 オープン（毎月決算型）」は、去る12月13日に第146期  
 の決算を行いましたので、法令に基づいて第141期～  
 第146期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願いい  
 申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 中 率			
117期(2021年7月13日)	円 3,395		円 40		% 94.0	% —	百万円 862
118期(2021年8月13日)	3,375		40	0.6	95.6	—	828
119期(2021年9月13日)	3,396		40	1.8	97.8	—	819
120期(2021年10月13日)	3,225		40	△ 3.9	96.7	—	736
121期(2021年11月15日)	3,111		25	△ 2.8	96.2	—	686
122期(2021年12月13日)	2,580		25	△16.3	94.0	—	550
123期(2022年1月13日)	2,612		25	2.2	89.4	—	540
124期(2022年2月14日)	2,661		25	2.8	93.2	—	545
125期(2022年3月14日)	2,434		25	△ 7.6	93.3	—	499
126期(2022年4月13日)	2,691		25	11.6	90.0	—	549
127期(2022年5月13日)	2,736		25	2.6	92.5	—	559
128期(2022年6月13日)	2,867		25	5.7	92.3	—	584
129期(2022年7月13日)	2,794		25	△ 1.7	97.4	—	567
130期(2022年8月15日)	2,858		25	3.2	95.9	—	578
131期(2022年9月13日)	2,983		25	5.2	95.4	—	602
132期(2022年10月13日)	2,926		25	△ 1.1	97.0	—	588
133期(2022年11月14日)	2,828		15	△ 2.8	96.0	—	570
134期(2022年12月13日)	2,805		15	△ 0.3	96.5	—	557
135期(2023年1月13日)	2,776		15	△ 0.5	95.7	—	550
136期(2023年2月13日)	2,781		15	0.7	97.6	—	547
137期(2023年3月13日)	2,869		15	3.7	97.0	—	560
138期(2023年4月13日)	2,937		15	2.9	96.6	—	550
139期(2023年5月15日)	3,085		15	5.5	96.4	—	581
140期(2023年6月13日)	3,189		15	3.9	97.0	—	585
141期(2023年7月13日)	3,290		15	3.6	97.6	—	604
142期(2023年8月14日)	3,403		15	3.9	96.4	—	625
143期(2023年9月13日)	3,274		15	△ 3.3	98.0	—	581
144期(2023年10月13日)	3,263		15	0.1	95.4	—	577
145期(2023年11月13日)	3,402		15	4.7	97.0	—	600
146期(2023年12月13日)	3,402		15	0.4	97.0	—	575

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	率			
第141期	(期 首) 2023年6月13日	円 3,189		% —	% 97.0		% —
	6月末	3,380		6.0	97.1		—
	(期 末) 2023年7月13日	3,305		3.6	97.6		—
第142期	(期 首) 2023年7月13日	3,290		—	97.6		—
	7月末	3,371		2.5	97.5		—
	(期 末) 2023年8月14日	3,418		3.9	96.4		—
第143期	(期 首) 2023年8月14日	3,403		—	96.4		—
	8月末	3,420		0.5	96.2		—
	(期 末) 2023年9月13日	3,289		△3.3	98.0		—
第144期	(期 首) 2023年9月13日	3,274		—	98.0		—
	9月末	3,246		△0.9	96.4		—
	(期 末) 2023年10月13日	3,278		0.1	95.4		—
第145期	(期 首) 2023年10月13日	3,263		—	95.4		—
	10月末	3,272		0.3	95.4		—
	(期 末) 2023年11月13日	3,417		4.7	97.0		—
第146期	(期 首) 2023年11月13日	3,402		—	97.0		—
	11月末	3,453		1.5	96.2		—
	(期 末) 2023年12月13日	3,417		0.4	97.0		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

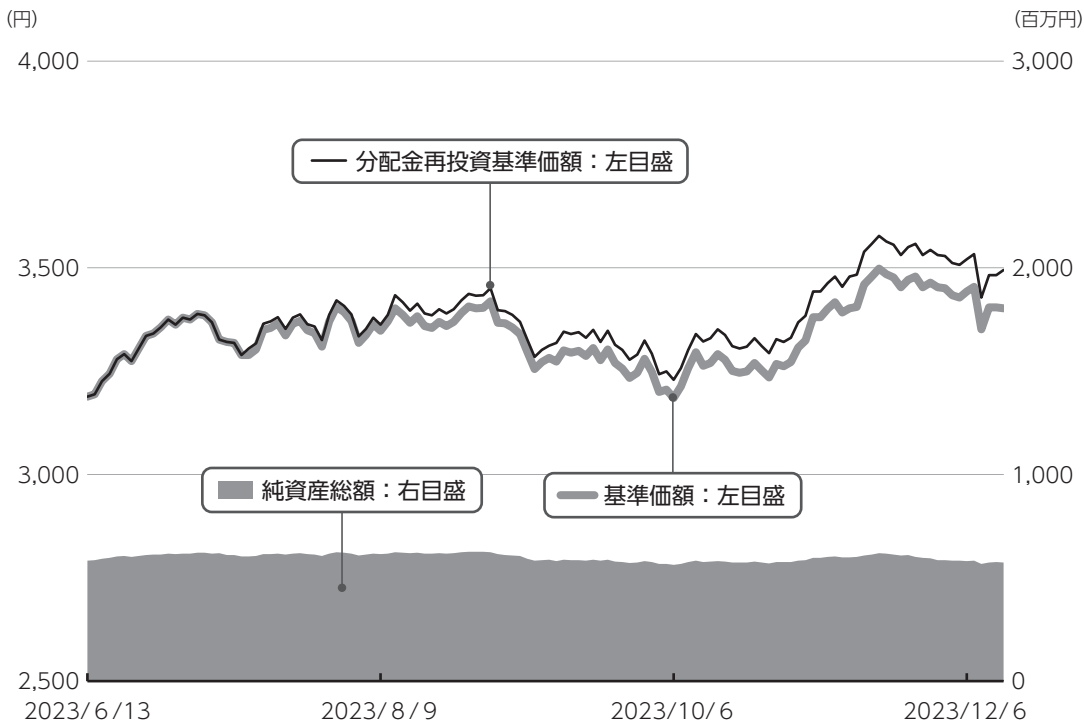
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第141期～第146期：2023年6月14日～2023年12月13日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第141期首	3,189円
第146期末	3,402円
既払分配金	90円
騰落率	9.6%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ9.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

## > 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

メキシコペソ、ポーランドズロチが対円で上昇したことや債券の利子収益を享受したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

第141期～第146期：2023年6月14日～2023年12月13日

▶ **投資環境について**

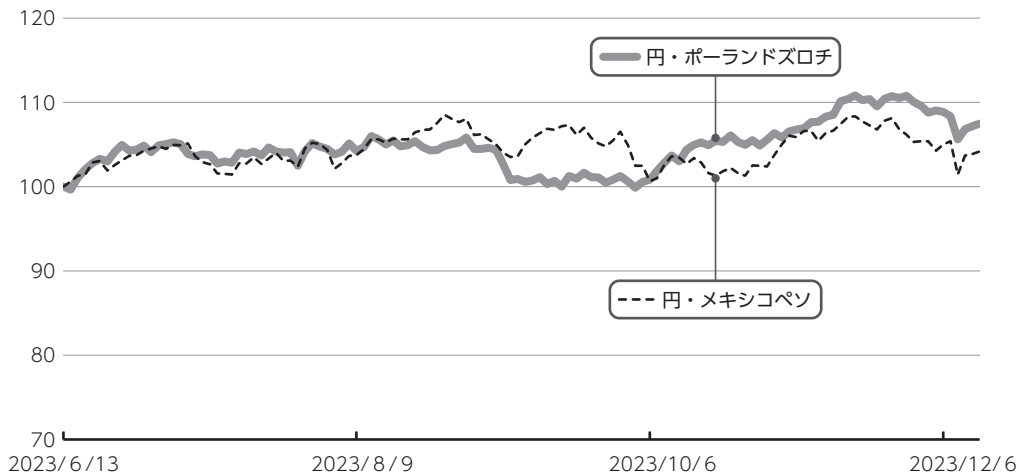
▶ **債券市況**

**メキシコの金利は上昇、ポーランドの金利は低下しました。**

米国における堅調な内容の経済指標を受けて、米国金利が上昇したことなどを背景にメキシコの金利は上昇しました。一

方、米国金利が上昇したことなどからポーランド金利は上昇する局面があったものの、中東情勢への懸念の高まりなどを背景に欧州金利が低下したことなどから、ポーランドの金利は低下しました。

**為替市況の推移** (当作成期首を100として指数化、対円)



▶ **為替市況**

**メキシコペソ、ポーランドズロチは対円で上昇しました。**

メキシコ中銀が政策金利を据え置いたことを背景に、メキシコにおいて相対的に

高い実質金利水準が維持されるとの期待や、ポーランド議会において政権交代となる可能性が浮上したことが好感されたことなどから、メキシコペソ、ポーランドズロチは対円で上昇しました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ ネクスト・グロース・ボンド・オープン（毎月決算型）

ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、新興国の通貨建て公社債に投資しています。

### ▶ ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド

信用状況、経済環境、取引規制などを総

合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国を2カ国選定し、通貨別資産配分は5：5としました。

期間を通じてメキシコペソ建て、ポーランドズロチ建ての国債に投資しました。

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第141期	第142期	第143期	第144期	第145期	第146期
	2023年6月14日~ 2023年7月13日	2023年7月14日~ 2023年8月14日	2023年8月15日~ 2023年9月13日	2023年9月14日~ 2023年10月13日	2023年10月14日~ 2023年11月13日	2023年11月14日~ 2023年12月13日
当期分配金 （対基準価額比率）	<b>15</b> (0.454%)	<b>15</b> (0.439%)	<b>15</b> (0.456%)	<b>15</b> (0.458%)	<b>15</b> (0.439%)	<b>15</b> (0.439%)
当期の収益	10	12	7	7	11	10
当期の収益以外	4	3	7	7	3	4
翌期繰越分配対象額	3,691	3,688	3,681	3,673	3,670	3,666

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

### ▶ ネクスト・グロース・ボンド・オープン（毎月決算型）

ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

### ▶ ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド

新興国の通貨建て公社債等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

投資にあたっては、信用状況、経済環境、取引規制などを総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国を原則2カ国選定します。通貨別資産配分は5：5を基本投資比率とします。

市場急変などの際に先進国の流動性の高い公社債等への投資比率を高める場合があります。

今後も、市場動向を注視しつつ、慎重に投資を行っていく方針です。

2023年6月14日～2023年12月13日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第141期～第146期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	25	0.741	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(11)	(0.330)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(13)	(0.384)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.058	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.054)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	27	0.799	

作成期中の平均基準価額は、3,341円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

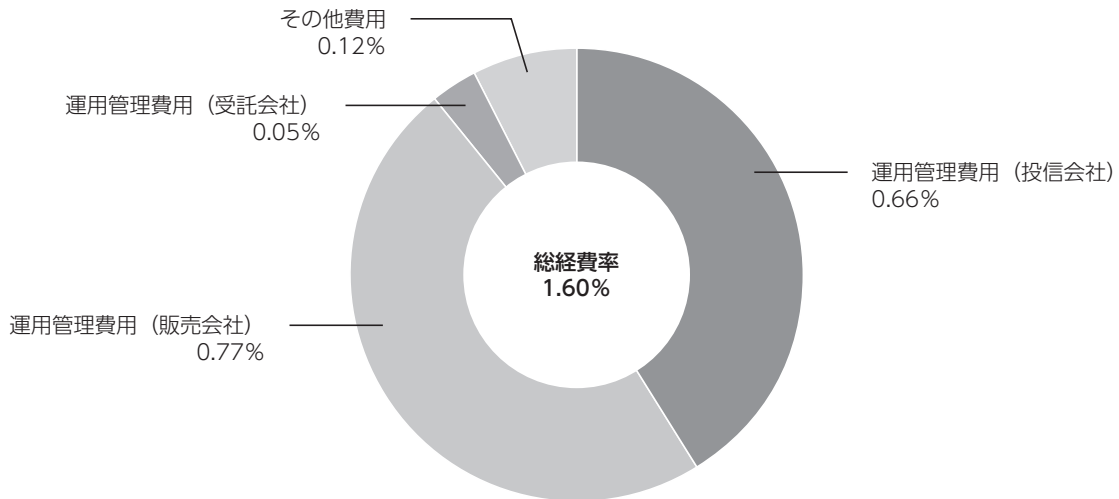
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.60%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年6月14日～2023年12月13日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第141期～第146期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド	千口 19,071	千円 25,450	千口 69,864	千円 94,040

○利害関係人との取引状況等

(2023年6月14日～2023年12月13日)

利害関係人との取引状況

<ネクスト・グロース・ボンド・オープン（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド>

区 分	第141期～第146期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$		
為替直物取引	百万円 17	百万円 6	% 35.3	百万円 85	百万円 22	% 25.9

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2023年12月13日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第140期末	第146期末	
	口 数	口 数	評 価 額
ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド	千口 465,933	千口 415,140	千円 574,512

○投資信託財産の構成

(2023年12月13日現在)

項 目	第146期末	
	評 価 額	比 率
ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド	千円 574,512	% 99.2
コール・ローン等、その他	4,732	0.8
投資信託財産総額	579,244	100.0

(注) ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（571,486千円）の投資信託財産総額（577,215千円）に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 メキシコペソ=8.4166円	1 ポーランドズロチ=36.3241円	
------------------	---------------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第141期末	第142期末	第143期末	第144期末	第145期末	第146期末
	2023年7月13日現在	2023年8月14日現在	2023年9月13日現在	2023年10月13日現在	2023年11月13日現在	2023年12月13日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	608,832,250	628,922,199	591,397,110	581,092,705	605,983,021	579,244,994
コール・ローン等	4,920,855	2,593,346	2,117,193	1,947,143	2,119,716	2,025,583
ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド(評価額)	603,120,400	623,885,685	579,907,039	575,726,893	599,519,429	574,512,374
未収入金	790,995	2,443,168	9,372,878	3,418,669	4,343,876	2,707,037
(B) 負債	4,264,639	3,630,337	9,821,541	3,985,440	5,058,153	3,344,363
未払収益分配金	2,756,529	2,756,248	2,664,841	2,652,970	2,649,863	2,538,957
未払解約金	763,258	74,368	6,408,113	626,013	1,671,971	76,846
未払信託報酬	742,551	797,245	746,274	704,277	734,045	726,313
未払利息	1	6	1	—	—	—
その他未払費用	2,300	2,470	2,312	2,180	2,274	2,247
(C) 純資産総額(A-B)	604,567,611	625,291,862	581,575,569	577,107,265	600,924,868	575,900,631
元本	1,837,686,068	1,837,498,683	1,776,560,734	1,768,646,697	1,766,575,670	1,692,638,392
次期繰越損益金	△1,233,118,457	△1,212,206,821	△1,194,985,165	△1,191,539,432	△1,165,650,802	△1,116,737,761
(D) 受益権総口数	1,837,686,068口	1,837,498,683口	1,776,560,734口	1,768,646,697口	1,766,575,670口	1,692,638,392口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,290円	3,403円	3,274円	3,263円	3,402円	3,402円

○損益の状況

項 目	第141期	第142期	第143期	第144期	第145期	第146期
	2023年6月14日～ 2023年7月13日	2023年7月14日～ 2023年8月14日	2023年8月15日～ 2023年9月13日	2023年9月14日～ 2023年10月13日	2023年10月14日～ 2023年11月13日	2023年11月14日～ 2023年12月13日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 109	△ 122	△ 99	△ 40	△ 9	△ 27
受取利息	3	—	4	5	—	—
支払利息	△ 112	△ 122	△ 103	△ 45	△ 9	△ 27
(B) 有価証券売買損益	21,187,799	24,305,259	△ 19,562,525	1,482,098	27,824,085	3,182,148
売買益	21,852,991	24,394,380	383,839	1,586,252	27,902,606	3,859,435
売買損	△ 665,192	△ 89,121	△ 19,946,364	△ 104,154	△ 78,521	△ 677,287
(C) 信託報酬等	△ 744,851	△ 799,715	△ 748,586	△ 706,457	△ 736,319	△ 728,560
(D) 当期損益金(A+B+C)	20,442,839	23,505,422	△ 20,311,210	775,601	27,087,757	2,453,561
(E) 前期繰越損益金	△ 348,330,291	△ 328,150,737	△ 295,554,496	△ 315,039,696	△ 313,660,304	△ 270,404,205
(F) 追加信託差損益金	△ 902,474,476	△ 904,805,258	△ 876,454,618	△ 874,622,367	△ 876,428,392	△ 846,248,160
(配当等相当額)	( 679,015,890)	( 678,286,892)	( 655,265,014)	( 651,100,049)	( 649,023,265)	( 621,314,873)
(売買損益相当額)	(△1,581,490,366)	(△1,583,092,150)	(△1,531,719,632)	(△1,525,722,416)	(△1,525,451,657)	(△1,467,563,033)
(G) 計(D+E+F)	△1,230,361,928	△1,209,450,573	△1,192,320,324	△1,188,886,462	△1,163,000,939	△1,114,198,804
(H) 収益分配金	△ 2,756,529	△ 2,756,248	△ 2,664,841	△ 2,652,970	△ 2,649,863	△ 2,538,957
次期繰越損益金(G+H)	△1,233,118,457	△1,212,206,821	△1,194,985,165	△1,191,539,432	△1,165,650,802	△1,116,737,761
追加信託差損益金	△ 903,161,531	△ 905,356,538	△ 877,711,086	△ 875,941,441	△ 877,003,887	△ 847,030,162
(配当等相当額)	( 678,356,043)	( 677,742,052)	( 654,013,123)	( 649,783,819)	( 648,453,040)	( 620,562,035)
(売買損益相当額)	(△1,581,517,574)	(△1,583,098,590)	(△1,531,724,209)	(△1,525,725,260)	(△1,525,456,927)	(△1,467,592,197)
繰越損益金	△ 329,956,926	△ 306,850,283	△ 317,274,079	△ 315,597,991	△ 288,646,915	△ 269,707,599

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 1,835,321,348円  
 作成期中追加設定元本額 122,048,209円  
 作成期中一部解約元本額 264,731,165円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.3402円です。
- ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,116,737,761円です。
- ③分配金の計算過程

項 目	2023年6月14日～ 2023年7月13日	2023年7月14日～ 2023年8月14日	2023年8月15日～ 2023年9月13日	2023年9月14日～ 2023年10月13日	2023年10月14日～ 2023年11月13日	2023年11月14日～ 2023年12月13日
費用控除後の配当等収益額	2,004,615円	2,204,968円	1,408,373円	1,333,896円	2,074,368円	1,756,955円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	679,043,098円	678,293,332円	655,269,591円	651,102,893円	649,028,535円	621,344,037円
分配準備積立金額	64,859円	—円	—円	—円	—円	—円
当ファンドの分配対象収益額	681,112,572円	680,498,300円	656,677,964円	652,436,789円	651,102,903円	623,100,992円
1万口当たり収益分配対象額	3,706円	3,703円	3,696円	3,688円	3,685円	3,681円
1万口当たり分配金額	15円	15円	15円	15円	15円	15円
収益分配金金額	2,756,529円	2,756,248円	2,664,841円	2,652,970円	2,649,863円	2,538,957円

## ○分配金のお知らせ

	第141期	第142期	第143期	第144期	第145期	第146期
1万円当たり分配金（税込み）	15円	15円	15円	15円	15円	15円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

### 【お知らせ】

委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。

2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。

(2023年10月1日)

## ネクスト・グロス・ボンド・マザーファンド

### 《第12期》決算日2023年6月13日

[計算期間：2022年6月14日～2023年6月13日]

「ネクスト・グロス・ボンド・マザーファンド」は、6月13日に第12期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	新興国の通貨建て公社債等を主要投資対象とし、主として利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。 投資にあたっては、信用状況、経済環境、取引規制等を総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国を複数選定します。 各国の通貨別資産配分は、市場流動性や利回り水準等を勘案して決定します。 市場急変等の際に先進国の流動性の高い公社債等へ投資を行う場合があります。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、組入比率の調整等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。
主 要 運 用 対 象	新興国の通貨建て公社債等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	円	騰 落 中 率			
8期(2019年6月13日)	10,114	2.3	94.3	—	1,726
9期(2020年6月15日)	10,922	8.0	97.0	—	1,277
10期(2021年6月14日)	10,741	△ 1.7	92.6	—	880
11期(2022年6月13日)	10,280	△ 4.3	92.5	—	582
12期(2023年6月13日)	12,527	21.9	97.2	—	583

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。



## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
(期 首) 2022年 6月13日	円 10,280	% —	% 92.5	% —	% —
6月末	10,248	△ 0.3	96.3	—	—
7月末	10,193	△ 0.8	97.5	—	—
8月末	10,629	3.4	95.3	—	—
9月末	10,739	4.5	95.6	—	—
10月末	10,992	6.9	96.1	—	—
11月末	10,764	4.7	96.3	—	—
12月末	10,349	0.7	96.5	—	—
2023年 1月末	10,714	4.2	97.3	—	—
2月末	10,992	6.9	98.1	—	—
3月末	11,274	9.7	97.3	—	—
4月末	11,634	13.2	96.6	—	—
5月末	12,198	18.7	96.9	—	—
(期 末) 2023年 6月13日	12,527	21.9	97.2	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### ●当期中の基準価額等の推移について

#### ◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ21.9%の上昇となりました。

基準価額等の推移



### ●基準価額の主な変動要因

#### (上昇要因)

メキシコペソ、ポーランドズロチが対円で上昇したことや債券の利子収益を享受したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

#### (下落要因)

保有期間において、インドネシアルピアが対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

### ●投資環境について

#### ◎債券市況

- ・メキシコ、インドネシア、ポーランドの金利は概ね低下しました。
- ・メキシコ、インドネシア、ポーランドでは、米国の利上げ観測の高まりなどを背景に、2022年10月下旬にかけて金利が上昇したものの、米国

のインフレ率の伸びの鈍化により過度な金融引き締め懸念が後退したことや投資国のインフレ率が徐々に鈍化しつつあることなどから、金利は低下に転じました。なお、メキシコとインドネシアの中央銀行がそれぞれ複数回の利上げを実施したことなどから、メキシコとインドネシアの短期ゾーンの金利は上昇しました。

#### ◎為替市況

- ・メキシコペソ、インドネシアルピア、ポーランドズロチは対円で上昇しました。
- ・日銀が緩和的な金融政策を維持する中で、米国経済の底堅さなどから、リスクセンチメントが改善したことなどを背景に、メキシコペソ、インドネシアルピア、ポーランドズロチは対円で上昇しました。

#### ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・信用状況、経済環境、取引規制などを総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国を2ヵ国選定し、通貨別資産配分は5：5としました。
- ・期間の初めから2022年12月まではインドネシアルピア建て、メキシコペソ建ての国債に投資しました。2023年1月にインドネシアルピア建て国債をポーランドズロチ建て国債に入れ替え、その後はメキシコペソ建て、ポーランドズロチ建ての国債に投資しました。

#### ○今後の運用方針

- ・新興国の通貨建て公社債等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。
- ・投資にあたっては、信用状況、経済環境、取引規制などを総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国を原則2ヵ国選定します。通貨別資産配分は5：5を基本投資比率とします。
- ・市場急変などの際に先進国の流動性の高い公社債等への投資比率を高める場合があります。
- ・今後も、市場動向を注視しつつ、慎重に投資を行っていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年6月14日～2023年6月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 27	% 0.249	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(10)	(0.091)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ そ の 他 ）	(17)	(0.157)	信託事務の処理等に要するその他諸費用（インドネシアの公社債売却にかかると取引税等）
合 計	27	0.249	
期中の平均基準価額は、10,873円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2022年6月14日～2023年6月13日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 22,573	千メキシコペソ 26,238
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ 9,038	千ポーランドズロチ 732
	インドネシア	国債証券	千インドネシアルピア 2,683,485	千インドネシアルピア 33,908,100

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2022年6月14日～2023年6月13日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
為替直物取引	百万円 308	百万円 3	1.0	百万円 416	百万円 67	16.1

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2023年6月13日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 37,200	千メキシコペソ 34,618	千円 279,753	% 47.9	% —	% 30.7	% —	% 17.2
ポーランド	千ポーランドズロチ 10,050	千ポーランドズロチ 8,515	287,774	49.3	—	16.1	15.5	17.7
合 計	—	—	567,528	97.2	—	46.9	15.5	34.9

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
メキシコ			%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	
	国債証券	5 MEXICAN BONOS 250306	5.0	13,500	12,417	100,345	2025/3/6
		7.75 MEXICAN BONO 310529	7.75	12,000	11,231	90,762	2031/5/29
		7.75 MEXICAN BONO 421113	7.75	3,500	3,077	24,872	2042/11/13
		8.5 MEXICAN BONOS 290531	8.5	2,000	1,963	15,864	2029/5/31
		8.5 MEXICAN BONOS 381118	8.5	6,200	5,928	47,908	2038/11/18
小		計				279,753	
ポーランド				千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券	0.25 POLAND 261025	0.25	3,200	2,672	90,318	2026/10/25
		0.75 POLAND 250425	0.75	3,350	3,056	103,300	2025/4/25
		1.25 POLAND 301025	1.25	1,500	1,099	37,161	2030/10/25
		2.75 POLAND 291025	2.75	2,000	1,686	56,994	2029/10/25
小		計				287,774	
合		計				567,528	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2023年6月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	567,528	96.8
コール・ローン等、その他	18,924	3.2
投資信託財産総額	586,452	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(579,881千円)の投資信託財産総額(586,452千円)に対する比率は98.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 メキシコペソ=8.081円	1 ポーランドズロチ=33.7946円	
-----------------	---------------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年6月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	586,452,021
コール・ローン等	15,416,703
公社債(評価額)	567,528,563
未収利息	2,865,469
前払費用	641,286
(B) 負債	2,797,826
未払解約金	2,797,809
未払利息	17
(C) 純資産総額(A-B)	583,654,195
元本	465,933,780
次期繰越損益金	117,720,415
(D) 受益権総口数	465,933,780口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,527円

<注記事項>

- ①期首元本額 566,867,378円  
 期中追加設定元本額 32,708,720円  
 期中一部解約元本額 133,642,318円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2527円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)  
 ネクスト・グロス・ボンド・オープン(毎月決算型) 465,933,780円

[お 知 ら せ]

- ①ベビーファンドの運用効率向上のため、追加信託・一部解約時の価額を、当日の基準価額から前営業日の基準価額に変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。  
 (2022年10月28日)  
 ②三菱UFJ国際投信株式会社は、2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更します。

○損益の状況 (2022年6月14日～2023年6月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	37,743,694
受取利息	37,746,507
支払利息	△ 2,813
(B) 有価証券売買損益	75,650,808
売買益	102,413,460
売買損	△ 26,762,652
(C) 保管費用等	△ 1,491,866
(D) 当期損益金(A+B+C)	111,902,636
(E) 前期繰越損益金	15,846,133
(F) 追加信託差損益金	3,138,509
(G) 解約差損益金	△ 13,166,863
(H) 計(D+E+F+G)	117,720,415
次期繰越損益金(H)	117,720,415

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。